

# INFORMATION RELEASE



ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2016年9月29日

## 27年連続でグッドデザイン賞を受賞

○計7点が受賞し、累計受賞数は住宅業界ナンバーワンの140点に  
○キッズデザイン賞<sup>※1</sup>を受賞した木質系戸建住宅「SMART STYLE H」がグッドデザイン賞も受賞

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 竹中宣雄）は、2016年度グッドデザイン賞（主催 公益財団法人日本デザイン振興会）において、木質系戸建住宅「Granlink HIRAYA（グランリンクヒラヤ）」や被災度判定計「GAINET（ガイネット）」<sup>※2</sup>など計7点を受賞しました。これにより、1990年の初受賞以降、住宅業界唯一の27年連続受賞となり、住宅商品51点をはじめ、分譲地、住宅関連部品、個人邸など累計140点の受賞数は住宅業界でナンバーワンの実績です。

なお、今回受賞した木質系戸建住宅「SMART STYLE H（スマートスタイルエイチ）」は、今年度の第10回キッズデザイン賞も受賞しており、グッドデザイン賞とのダブル受賞となりました。

グッドデザイン賞は、1957年の創設以来約60年にわたって実施されている日本で唯一の総合的なデザイン推奨制度です。受賞作品は、単に美しいデザインであるというだけでなく、高い機能性や品質、安全性、社会や環境への貢献といったさまざまな視点から評価され、選出されます。

ミサワホームは、住まい手の家族構成や趣向が変わっても豊かに暮らし続けられる住まいには、優れたデザイン性と機能性を両立させたシンプルなデザインが必要という考えから、これまで「シンプル・イズ・ベスト」というデザインポリシーのもとで商品やサービスの開発に取り組んできました。ミサワホームでは、四半世紀を超えるグッドデザイン賞の受賞実績に裏付けられた「デザインのミサワホーム」をこれからも積極的に訴求するとともに、今後も『住まいを通じて生涯のおつきあい』という精神のもと、良質の『住まい』を提供し、豊かな社会づくりに貢献します」というコーポレートスローガンに基づき事業を推進していく考えです。

※1：子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、想像性と未来を拓くデザイン、子どもたちを産み育てやすいデザインに対する顕彰制度

※2：株式会社ミサワホーム総合研究所及びKDDI株式会社との共同受賞

## ■2016 年度グッドデザイン賞受賞内容

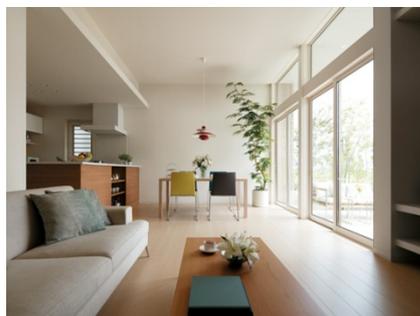
### ・木質系戸建住宅「SMART STYLE H」

昨年 10 月に発売した「SMART STYLE H」は、約 3m の高天井とハイサッシを用いた開放感のある LDK を中心に「サーキュレーションプラン」、「センター階段」、「スキップフロア」を組み合わせることで、家族の自然な“つながり”と“ほどよい距離感”を両立する空間設計が特長です。また、家族共有の学び場である「ホームコモンズ」、親子の時間を増やすための時短家事サポート、災害時にも家族を守る防災・減災デザインなど多数の提案を盛り込んでいます。

受賞にあたっては、「複雑になりがちな空間構成を商品化住宅で実現している点と、階段室に設けられたトップライトや床のレベル差を利用した収納など、細かいところまで気持ちが行き届いたデザインである点」が評価を受けました。



外観



高天井とハイサッシが印象的なリビングダイニング

### ・木質系戸建住宅「Granlink HIRAYA」

平屋を希望する子育て世帯が多いという九州地方のニーズに対応した地域限定商品です。ミサワホームが得意とするスキップフロア設計を活用し、大収納空間「蔵」と小屋裏空間を活用した「小屋 KURA」をプラスした広がりのある平屋です。また、日差しの強い地域性を考慮した深い軒の出やトップライトなどの採用による通風・排熱を促進する南北通風設計によって快適な室内環境を実現しています。さらに、内と外とを緩やかにつなぐ半屋外空間を設けることで、近隣とのつながりを育むきっかけをつくります。

受賞にあたっては、「地域ごとに異なる気候や習慣に着目し商品化した点、間取りにおいては特に夏の強い日差しを遮る断熱性の高い屋根と温暖な気候を利用した屋内外をつなげるテラスがある点」が評価されました。



深い軒の出が印象的な外観



テラスとのつながりを考えたリビング

### ・被災度判定計「GAINET」※3

住宅の基礎に設置する加速度センサーで地震波を計測し、リアルタイム震度と建物及び地盤の被災度判定結果を表示し、音と連動して警告する被災度判定計です。測定されたデータは、4GLTE/800MHz 網を経由してクラウドサーバに集約されるため、建物ごとの震度や被災度を短時間に把握でき、緊急度に応じたオーナーサポートが可能になります。またスマートフォンやパソコンにより、離れた場所でも自宅の状況を確認することが可能です。

受賞にあたっては、「全国規模の地震計測データを継続的に蓄積していくことで、今後の日本の地震対策に貢献しうる新たなビッグデータを生み出すインフラとなる可能性がある」と評価を受けました。

※3：株式会社ミサワホーム総合研究所及びKDDI株式会社との共同受賞



表示部



スマートフォンでの  
操作イメージ

### ・分譲地「オナーズガーデン昭島」

全 25 戸の住宅に、農作業体験が可能なコミュニティ型の市民農園を併設し、農住一体の暮らしを目指す分譲地です。バーベキューができる共有スペースを設けることなど、住民同士のコミュニティ形成を促す工夫も盛り込んでいます。

受賞にあたっては、「人口減少が社会的課題となっている現在において、宅地を一斉開発するのではなく、生産緑地を残すことで『住宅+畑』という理想的な暮らし方を提案し、実現している点」が評価を受けました。



街の様子



共有スペース

・アルミ樹脂複合サッシ「AZ サッシ」※4

高い断熱性と操作性を追求しながらも、外観デザインやインテリアデザインが美しく見えるようにサイズや納まりにこだわったアルミ樹脂複合サッシです。

受賞にあたっては、「高い性能を維持しつつ枠を細く見せる収まり、ハンドルやロックの一貫性のあるディテール、線を徹底的に整理し建築と同化するように仕上げられている点」が評価を受けました。

※4：株式会社 LIXIL との共同受賞



縦すべり出しサッシ



引違いサッシ

・マンションリノベーション「ROOM907」※5

社外の建築家と提携し、個人住宅や事業用建物のプロデュースを手掛けるミサワホームの社内プロジェクトチーム「A プロジェクト」が取り組んだマンションリノベーション物件です。夫婦二人の静かな生活と、ときどき訪れる友人たちとの賑やかな生活の両方を楽しめる空間構成としました。低かった天井をスラブ現しとすることで開放感のある空間を確保し、造作家具をタモ材で統一することにより落ち着いた印象を与えています。「A プロジェクト」の物件は昨年度に続き、2年連続受賞となります。

受賞にあたっては、「マンションの改修という、制約の多い条件のなかで、『間取りと仕上げの変更』から最大の効果を引き出した」との評価を受けました。

※5：西澤徹夫建築事務所との共同受賞



空間を最大限に確保した  
リビング



造作を統一したキッチン

## ・個人邸「都市の数寄屋」

ミサワホームのデザイナー集団であるセンチュリーデザインオフィスが設計した個人邸。ファサードに多くの樹木を配すことにより周辺環境との調和を意識しながら、モダンな印象を与える外観を目指しました。室内は日本の伝統的な数寄屋造りを取り入れ、伝統建築と現代建築の融合を試み、次世代に受け継がれるようなデザインを目指しました。

受賞にあたっては、「テーマとする『数寄屋』とモダニズム的なデザインとの融合、そしてシンプルさの追求により高いクオリティを実現している点」が評価を受けました。



コンクリートの外壁が  
モダンな印象を与える外観



繊細なディテールにこだわった  
組子障子のあるリビング

## ■グッドデザイン受賞展「グッドデザインエキシビション 2016」

会 期：2016年10月28日（金）～11月3日（木・祝）

開催時間：11：00～20：00

※初日は17：30～20：00

※最終日は11：00～17：30

会 場：東京ミッドタウン内各所（東京都港区赤坂 9-7-1）

渋谷ヒカリエ 8/COURT・CUBE（東京都渋谷区渋谷 2-21-1）

## ■ミサワホームのデザイン（特設サイト）

U R L：<https://www.misawa.co.jp/design/>

以 上

\*この件に関する問い合わせ先\*

ミサワホーム(株)経営企画部コーポレートコミュニケーション課 中田義規 佐野遥香

TEL 03-3349-8088/FAX 03-5381-7838 E-mail：[Haruka.Sano@home.misawa.co.jp](mailto:Haruka.Sano@home.misawa.co.jp)